

青少年体験活動の基本を学ぼう(リーダー編)

21世紀を考える 全国青少年体験活動 シンポジウム

和歌山大会

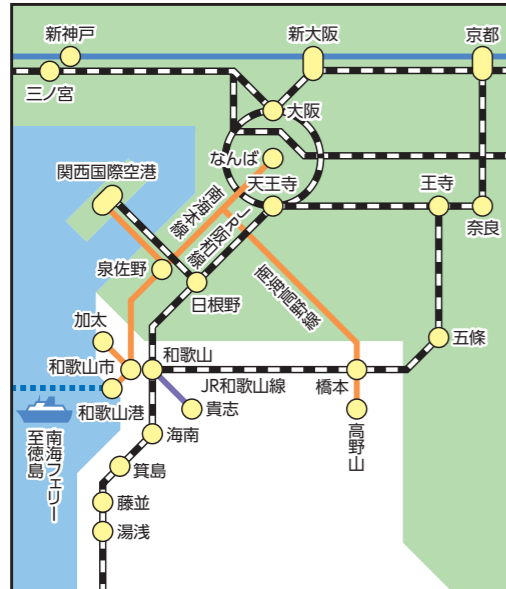


申し込み方法

メール、FAX、郵送にて、「日本都市青年会議参加」、住所、氏名、所属団体(あれば)、連絡先(できるだけ携帯電話)、希望分科会(第1~3希望まで)を和歌山市青少年課へ

- 申し込み先/和歌山市教育委員会 生涯学習部 青少年課内 日本都市青年会議 〒640-8511 (住所不要) 和歌山市青少年課内 日本都市青年会議 TEL.073-435-1235 FAX.073-435-1240 内線3092 E-Mail:seishonen@city.wakayama.lg.jp

アクセス



- JR利用で新大阪駅から和歌山駅まで **特急利用で約60分**
- 南海難波駅から南海和歌山市駅まで **特急利用で約60分**



- 和歌山市あいあいセンター**
 〒640-8226 和歌山市小人町29
- 南海和歌山市駅から南へ徒歩10分
 - 和歌山バス城北橋バス停より徒歩3分
 - 和歌山バス市役所前バス停から西へ徒歩5分

大会テーマ 「和っしょい！」

- 大会日程 **2013年10月12日(土)~14日(月・祝)**
- 主催 日本都市青年会議
- 後援(予定) 全国知事会、全国市長会、財団法人日本都市センター、中央青少年団体連絡協議会、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山県青年団体連絡協議会、和歌山市青年団体協議会

子どもゆめ基金助成活動、和歌山市コンベンション事業

お問い合わせ

和歌山市教育委員会 生涯学習部 青少年課内 日本都市青年会議
 TEL.073-435-1235 FAX.073-435-1240 内線3092
 E-Mail:seishonen@city.wakayama.lg.jp

大会趣旨

少子高齢化が進む近年、未来を担う青少年とその育成において、体験活動を通じた学びは有用でますます重要になってきている。本大会では、青少年およびそれらを育成する分野、世代の人たちが集まり、相互の情報交換を行うことで共に学び合い、青少年活動の指導者の資質を向上させ、社会的包摂の中で問題解決できる指導者養成を目的に開催する。また、和歌山ならではの大会として、地元文化や他府県に誇れる人、ものを素材とした体験活動を通じ、青少年育成の基盤整備と体験活動普及のためのスキルアップも同時にはかる。

事業概要

- **名称** 青少年体験活動の基本を学ぼう (リーダー編)
～21世紀を考える全国青少年体験活動シンポジウム(和歌山大会)～
- **主催** 日本都市青年会議
- **後援(予定)** 全国知事会、全国市長会、財団法人日本都市センター、中央青少年団体連絡協議会、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山県青年団体連絡協議会、和歌山市青年団体協議会
- **協力** NPO紀州お祭りプロジェクト
- **助成等** 子どもゆめ基金助成活動、和歌山市コンベンション開催補助金
- **開催日程** 2013年10月12日(土)～14日(月・祝)
- **開催場所** 和歌山市あいあいセンター (和歌山市小人町) ほか
- **募集対象・定員** 全国の青少年活動に携わる関係者、その分野に関心のある人(一般成人・学生) 定員150人。定員以外に基調講演50人と2分科会10名は小学中学高校生も参加可
- **大会テーマ** **「和っしょい！」**
子どもたちの体験活動をより一層普及させるための人材を育成するにあたり、活動に欠かせないモチベーションを表す言葉。参加者一人一人がシンポジウムで過ごした時間を糧に、新たな「一歩」の後押しになる大会になるよう、心揺さぶる瞬間を感じてもらいたいとの願いを込めた
- **内容**
 - 12日(土) 13時30分～ 受付 (於：あいあいセンター)
 - 14時00分～ 開会式 (オリエンテーション・アイスブレイク)
 - 14時30分～ 基調講演 (事例発表含む、シンポジウム形式)
 - 19時00分～ 交流会「出会い、ふれあい、学び合い」(分科会説明)
(於：ホテルアバローム紀の国)
 - 13日(日) 終日 分科会
 - 14日(月) 9時00分～ まとめ講演 (於：あいあいセンター)
講師：西川一弘氏…大会3日間の総括に加え、青少年の地域活動と行政との協働を交えた地域活動の在り方を提示していただく。最後に和歌山大会メッセージとして、今後の青少年活動への言葉をいただく。
 - 11時30分～ 閉会式 (メッセージ採択)
 - 12時00分～ 解散
- **大会参加費** 当日受付で集金します
大人/4,000円、大学生/3,000円、高校生以下/無料
※大会初日の交流会は別途会費が必要です

大会第1日目【基調講演】

(事例発表・パネルディスカッション形式)

～青少年体験活動の基本とワクワク青少年育成の基盤づくり～

- **提談・コーディネーター** 西川一弘氏 (和歌山大学地域連携・生涯学習センター講師)
- **演題** 若者の元気を引き出す「器」づくり
- **講師** 内田嘉高氏 (NPO紀州お祭りプロジェクト)
小幡和輝氏 (現役高校生・合同会社和-なごみ代表社員)
田原洋子氏 (私立慶風高等学校教諭)

内田嘉高氏…10万人以上の観客を集める紀州よさこい祭りは2004年、内田氏を中心とした市民有志による手作りの祭りで始まった。現在は老若男女問わず幅広い分野、世代の人が関わるようになっている。和歌山県社会教育委員も経験。事例紹介

小幡和輝氏…現役高校生社長として、若者が和歌山の将来について語り合うイベントや、高校生による週末限定の手づくりカフェの運営など精力的に取り組む。自身のひきこもり経験をバネに活発に活動している。

田原洋子氏…通信制高校の慶風高校で、心や家庭など様々なことを抱え込んでいる子どもたちと向き合っている。プライベートでは、和歌山青年会議所副理事長を務め、地域での活動に精力的に取り組むほか、家庭では母親として仕事と家庭を両立させている。

大会第2日目【分科会】

(各定員は25名(調整有) 共通プログラム：ランチセッション)

①ローカル線を守る人々の思い

(要別途/電車代650円)

おもちゃ電車、いちご電車、たま電車とユニーク電車に加え、知名度は全国に広がるネコ駅長「たま」など様々なアイデアで盛り上がる和歌山電鐵貴志川線。廃線の危機から救った沿線住民と電鐵の取り組みを見聞き、活動団体に欠かせない資金と人材確保の経営術を学ぶ。**【青少年団体の経営について学ぶ】**

②子どもの頃にタイムスリップ!?

～童心に学ぶプログラム作り

(定員+小中高生10名)

子どもの特性、ニーズを理解し、安全と危機管理を考えた体験活動プログラム(計画)作りを実践。子どもたちの意見を聞き、子ども目線の「楽しい」を考え、学びの多い体験活動をいかに作るか考えてみましょう。**【体験活動の企画運営を学ぶ】**

③伝統守る人と街とその心

～湯浅の街歩き

(要別途/電車代1,300円)

重要伝統的建造物群保存地区に指定されている湯浅は醤油発祥の地。歴史ある建物が多く保存されており、風情ある街並みを感じながら街づくり活動にふれ、理念を共有した地域活動におけるネットワークづくりを学びましょう。**【ネットワークづくりを学ぶ】**

④天守閣再建55周年和歌山城

～地域遺産の気づき

(要別途/入館料・レンタサイクル代900円)

和歌山大空襲で焼け落ちた天守閣を市民の寄付で再建された和歌山城。石垣の組み方、天守閣の構造など、江戸時代の人々の知恵が随所に見られます。それらの特性を生かした市民活動が和歌山城をフィールドに行われています。お城の歴史を振り返り、他の地域の人との違いや、今日の意味を考えます。**【地域活動の基本を学ぶ】**

⑤紀の国わかやま国体に向け

込められた英知に触れる

2015年に開かれる「紀の国わかやま国体」に向け、県は様々なスポーツ関連施設の更新と新築を進めています。単にスポーツ施設としてではなく、災害時やまちづくりも視野に入れた設計になっており、それらの施設見学を通じ、「国体が和歌山にもたらすもの」として自立と受容性を考えます。**【地域活動の基本を学ぶ】**

⑥めざせ!防災マスター!

南海トラフの大地震が予想される和歌山。地元では大学生がボランティアで地域の人たちに防災の大切さを伝える活動をしています。若者からのファシリテートにより改めて気づかされる防災の大切を学ぶと共に、地域における災害時の防災リーダーに必要な資質を養います。**【リーダー育成について学ぶ】**